

中高生向け事業の実施について

1 現状と課題

子どもへの貸出冊数の減少

指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
区立図書館による小学生への貸出冊数(冊)	654,645	831,602	810,279	767,874	706,495
区立図書館による中学生への貸出冊数(冊)	116,578	134,040	124,875	116,137	110,655
区立図書館による高校年代への貸出冊数(冊)	67,057	72,637	62,953	53,760	50,756

高校生の半数以上が図書館利用せず

	小学2年生	小学5年生	中学2年生	高校生
毎日(ほぼ毎日)	219	33	10	13
1週間に1~2回	718	491	144	25
1か月に1回くらい	646	906	454	96
1年のうち何回か(ときどき)	760	1239	1035	240
利用しない	527	802	996	476
未回答	79	36	18	11

令和6年度練馬区「子どもの読書に関するアンケート」より

中高生に対する読書への働きかけ・図書館利用促進が課題

3 中高生POPコンテスト

事業概要

内 容	「わたしの味方」をテーマにおすすめの本のPOPを募集。館内で展示を行い、来館者投票を行う。また、作家新井素子さんによる特別賞を選定(↓)。
募集期間	6月15日から9月14日まで
対象年齢	12歳から19歳まで
展示期間	9月17日から11月30日まで
投票期間	9月17日から10月15日まで



実施結果

応募総数	489点(中学校4校、高校1校から) ⇒参加依頼にあたり学校訪問も実施
投票総数	596件
受賞作品	審査員特別賞 2点 図書館長賞 1点 来館者投票 上位3点 (内1位『モモ』は審査員特別賞も受賞)

今後応募されたPOPと資料展示

中高生の読書意欲向上を図る

2 推進計画の取組事業

児童生徒の意見を取り入れた外国語資料の充実(P.47)

中高生の読書環境の整備(P.54)

※R7年度学校連絡協議会では、日本語を母語としない子どものために教科書掲載の小説の中国語版などの取扱要望あり。

【光が丘】中国語・韓国語などの絵本・読み物を学校支援用に整備検討中
英語多読コーナーを今年度中に新設予定

青少年の意見を取り入れた図書館づくりの推進(P.59)

【関町】中高生が自由に書き込めるノートを設置。コミュニケーションの場として利用されている。
光が丘図書館でもノートや資料購入リクエストボックスの設置を検討中。

子どもや保護者がゆっくり利用できる読書環境の確保(P.56)

空き会議室を活用し、各館でグループ学習室として開放。光が丘では毎週水曜夕方に実施中。
【光が丘】乳幼児おしゃべりタイムを通年で試行中。2階は会話可能に。

電子書籍の授業での利活用(P.45)

R7年度、区立全小中学校に電子図書館のIDおよびパスワードを配布完了。読み放題に全国「るるぶ」を追加。修学旅行等での活用に期待。

区内高校への情報発信の強化(P.47)

部活動や学習成果の発表の場としての図書館の利用促進(P.55)

以下、「中高生POPコンテスト」、東京学芸大附属高校、都立井草高校の事例を参照。

4 その他の中高生向け事業の例

石神井



ONCE UPON A STORYTIME

東京学芸大学附属国際中等教育学校の高校2年生を招き、英語によるよみきかせ、しおり作りを行う。チラシ作成も学生によるもの。

稻荷山



大泉さくら高校 手話つきおはなし会

大泉桜高等学校の手話部の生徒による手話つきおはなし会です！プログラム「おはなし会」などなど！

石神井

都立井草高校書道部によるライブパフォーマンス



都立井草高校書道部の生徒を招き、屋外での書道パフォーマンスと室内でのワークショップを行う。

貫 井

中村児童館中高生対象「なかなかTIME」への出張事業

児童館の中高生居場所づくり事業へ出張し、図書館の利用案内や、夏休みの読書感想文・自由研究に関連した資料の紹介を行う。

